

高校3年生における進路内定後のN I E

延岡星雲高等学校
教諭 飯田 幸 奨

●実践概要

- (1) N I E実践指定校の特典である新聞無料購読の6紙を、1学年のフロアの廊下に設置し、生徒が自由に閲覧できるようにした。また、各クラスの日直日誌に新聞記事の要約や意見・感想を書かせた。
- (2) 3年3組の教室に、宮崎日日新聞を設置し、生徒が自由に閲覧できるようにした。また、日直日誌に新聞記事の要約や意見・感想を書かせた。3年生ということもあり、各生徒の進路を意識したものを選ぶよう投げかけた。
- (3) 12月の総合的な学習の時間、LHRおよび土曜講座(計7時間)で、3年生のセンター受験者を対象にN I Eの授業を行った。内容は、新聞記事をポスターの形にまとめて発表することを目標に据え、記事の要約の練習や疑問点を調べることなどを段階的に行った。最終的にグループを作り、ポスター作成と発表会を行った。

●実践事例(概要(3)について)

本校では、センター試験を間近に控えた時期、3年生の総合的な学習の時間やLHRは、二者面談および自学自習の時間にあてる。しかし、一部に進路が決定しセンター試験を受けない生徒もいる。そのような生徒に対して、今後の役に立つような取り組みはないかと考え、N I Eの授業を行うことになった。

対象クラスは、普通科3年2組(理系)と3組(文系)の一部生徒である。専門学校や私立短期大学への進学が決定した生徒が多い。就職をする生徒もいる。

・授業内容

①12月2日(1時間) 新聞記事要約1

N I Eのオリエンテーションと新聞記事の要約を行った。生徒一人一人が自由に記事を選び、ワークシートを用いて要約を書いた。小グループをつくり要約を発表し合った。その後、「5W1H」に注目して記事を見るように投げかけ、再度記事を確認しながら要約を書き直した。

②12月3日(2時間) 新聞記事要約2

前半では前回と同様、新聞記事の要約を行った。今回は使用記事を指定し、生徒同士の着眼点の違いを確認しながら多角的なものを見方ができるようにした。後半では、ポスターを作成し発表することを視野に入れ、グループをつかって記事選び、要約を行った。記事についての疑問点や興味を持った部分などを整理し、どの部分に注目したか、なにについて調べたいかをまとめた。

③12月8、9、15日(3時間) ポスター作成

記事を選び、グループで話し合いを行いながらポスター作成をした。記事のスクラップと要約を入れること以外は指示を出さず、生徒の自由な発想に任せた。関連記事を使うための新聞と、インターネットで調べるためのタブレット端末を準備した。

④12月16日(1時間) ポスター発表会

作成したポスターの内容をグループごとに発表した。聞き手は発表メモを作成し、意見をもちながら発表を聞けるようにした。

・授業者の所感・反省等

今回N I Eの授業を担当したが、それまでに研修等をほとんど受けたこともなかったので、N I E推進の担当者にアドバイスをもらったり、昨年度の実践報告や他県の情報を参考にしたりしながら、なんとか進めてきた。指導案やワークシート作成にあたって様々な実践例を参考にしたが、対象生徒の実情を把握して最適なものを用意する必要があると感じた。

生徒達は、あまりN I Eの授業を受けた経験がなかったようで、はじめの要約では戸惑う様子やうまくできない様子が多く見られた。一部生徒は、新聞に触れる機会も少なかったようである。そのような点において、今回の授業では新聞に触れさせ興味をもたせる良い機会を与えられたのではないかと思う。

2組、3組の2クラス合同で授業を行ったが、始めの2時間で行った要約には、クラス間の大きな差が感じられた。文系クラスである3組の方が、要領よく的確にまとめられていた。3組では4月から教室に新聞を置き、積極的に閲覧するように促してきたこともその要因の一つであると思われる。

ポスター作成では、2回の要約の経験が生き、スムーズに記事選びや作成方針を決められていた。記事に対して意見や疑問をもち、そのことについて深く話し合っただけで考えをまとめるように働きかけたが、この部分で生徒間、グループ間の差が大きかった。要約練習の段階で、そのことに関する工夫をすべきだったと反省している。ただ、グループによっては新聞以外からも積極的に多くの情報を調べ、ポスターを充実させていたものもあった。

【新聞記事の選定・要約】



【レポート作成】



【発表】



・今後の課題等

今回は、学校として、学年としての取り組みというよりも、一担任による授業という形で行った。授業計画も十分に練ることができず、また実授業時間も非常に限られており、「うまくいった」とは言いがたい部分も多かった。事後検証等も行っていないため、生徒の変容を客観的に確認することはできていない。しかし、進学や就職が決定した3年生に対して、この時期に一応のNIEが実践できたことは、生徒の社会への意識向上に大きくつなげることができたと思う。積極的・自発的に授業に参加しようとする様子は、アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）の実践にもなっていたように思う。

あと2週間で卒業を迎える生徒達だが、今日も進んで教室にある新聞を読んでいた。このような習慣付けに少しでも寄与できたのであれば、今回のNIEは成功と言えるのではないかと思う。

授業をした私自身は立案や準備に大変苦労したが、非常によい勉強・経験になった。今回の授業実践は今後も応用できる場面が多くあるだろう。実際に現在、大学入試2次試験の集団討論の指導の中で、新聞記事の要約をさせながらそれを元に指導を進めている。要約の仕方、疑問点の持ち方や注目すべきポイントなどは集団討論につながる部分が多く、指導に当たって私自身が先の経験を生かすことができていると実感している。次年度以降は、まず教員の中での意識を高め、学年や学校全体で計画・系統立てをしてNIEの実践ができるようにしていきたいと考えている。

・NIE全体を通しての生徒達の所感（3年2、3組）

- ★NIEを通して、新聞を見るとき視点が変わった。疑問をもって詳しく調べることで初めて記事の意味が分かるという体験ができた。
- ★要約や各班のポスター発表を聞いていると、それぞれ注目している部分が異なっており、同じものでも様々な見方があった。
- ★グループでの連携という経験ができた。役割や担当を決め、それぞれの立場や見方などをまとめることは、とても良い勉強になり楽しかった。
- ★これまで新聞を詳しく読むことは少なかったが、NIEを終えて新聞を読むようになり、文章を読むスピードも速くなった。
- ★要約や、相手にものを伝えることの難しさ・大切さを学んだ。協力し合って一つの作品を作ることができて良かった。